

知っていますか？

風水害発生時の行動

洪水や土砂災害などの風水害から、どのように身を守れば良いか知っていますか？

被害を最小限に防ぐため、風水害発生時に取るべき行動について考えてみましょう。

危険な地域に住んでいるなら早めの避難が原則です！

気象情報や避難情報で、お住いの地域の災害危険を把握した場合、周囲が浸水する前に早めに避難を開始しましょう。特に夜に大雨が予想されるときは、暗くなる前に早めの避難を心がけましょう。

マイ・タイムラインで避難のタイミングを決めておきましょう



マイ・タイムラインの作成はこちらから



浸水 避難のポイント

逃げ遅れた場合は、無理に外に出ない 建物の上階へ避難！

浸水時に歩行可能な目安は、50cmまで。

流れがあれば、それ以下でも危険。



車で避難しない！

浸水でエンジン停止し立往生する可能性がある。

河川などには決して近づかない！

河川の様子を見に行くと、渦流に巻き込まれる危険がある。

動きやすい服装で移動する！

荷物は背負えるリュックのみ、両手が使えるようにする。

長靴は水が入ると動きづらい、運動靴の方が良い。

杖などを使えば、段差や障害物を避けることができる。



土砂災害 避難のポイント

土砂災害の予兆を確認したら、避難情報が出される前に避難する！



斜面にひび割れができる。



雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。



がけから出る水が増える。



わき水の量が増える。



地鳴りの音が聞こえてくる。



地面にひび割れができる。



がけに亀裂が入る。
がけから小石が落ちてくる。



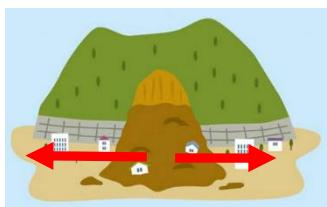
川が濁ったり、
流木がまさりはじめめる。



斜面から水が噴き出る。

逃げ遅れた場合

建物の上階へ、斜面の反対側にある部屋に避難する！



土石流から逃れる方法

流れが非常に速いので、背を向けて逃げると巻き込まれる。

流れの方向に対して直角に逃げる。

他にも防災情報がたくさん！
「防災に役立つチラシ集」



楽しく動画で防災を学ぼう！
「にしのみや防災チャンネル」

